

令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 白山会

目 次

- 1 施設概要
- 2 施設理念・基本方針・事業目標
- 3 令和元年度法人報告
- 4 理事会・評議員会
- 5 会議・委員会活動報告
- 6 消防訓練について
- 7 年間行事報告
- 8 施設内研修
- 9 施設外研修
- 10 ボランティア報告
- 11 今年度の振り返り
- 12 その他(食事提供について)

施設概要

1 施設の名称及び種別	特別養護老人ホーム星久喜白山荘 指定介護老人福祉施設
2 所 在 地	〒260-0808 千葉市中央区星久喜町152番地2 <u>TEL:043-209-1500 FAX:043-209-2200</u>
3 経 営 主 体	社会福祉法人
4 事 業 開 始	平成21年4月1日
5 管 理 者	中尾 幸子
6 定 員	50名
7 協 力 病 院	千葉中央メディカル 柏戸病院 千葉南病院
8 施 設 の 規 模	(1)敷地面積:1,771m ² (2)延床面積:2,472m ²

施設理念

「安心」「安全」「健やか」の理念

星久喜白山荘は、ご利用者様との信頼関係を築きあげるとともに、ご利用者様にとって安全な環境と安全な身体介助を提供し、心身ともに健やかで安心した日常生活が送れるように援助し、介護支援をいたします。

基本理念

- 1 ご利用者様を人生の先輩として敬い、ご利用者様の立場に立ち、ご利用者的人格を尊重します
- 2 ユニットケアを実践し、個別対応を大切にいたします
- 3 介護現場に携わる専門職として意識を持って関わります

運営の基本方針および事業目標

施設を取り巻く環境がより一層厳しいものとなり、今後施設運営にあたって効率的で効果的な運営を目指す事が要求されていく中で、真にサービスを必要としている人々に対してその方がその人らしく安心して生活をしていただけるよう、職員一人一人がご利用者様のニーズを丁寧に確認し、その方の生活全体を支えると言う視点から人間性や尊厳性、その思いを組み込んだケアプランを作成するとともに、これからを実現できる体制として各専門職の連携を強化したサービス低異教体制を構築していく。

令和元年度法人全体報告

地域支援について

地域支援の「買物支援」は順調で、現在支援させていただいている「都町地区」の方々には喜んで頂けています。引き続き事故のないように地域支援を行って行きます。

新規取組について

施設内では、入居者様のADL維持のため、「パタカラ体操」「リハビリ体操」を開始致しました。体操については、その方のレベルに合わせ、週2回実施し、「パタカラ体操」については、朝・昼・夕と3回実施しております。来年度も定着させていけるよう、職員一同で努力していきます。

感染症対策について

年度の終盤には、「コロナウィルス」で面会制限など、ご家族様にはご迷惑・ご不便をおかけしてしまいましたが施設内の感染症対策は職員一丸となりしっかり行ってきました。

いつ終息するかわかりませんが、引き続き徹底してい行くよう努力していきます。

・徹底事項

- ①看護師による感染症研修の実施
- ②手洗い・うがい・マスク着用・体温測定の励行
- ③管理者・看護師による体調不良者への指導・記録の徹底

新規加算について

本年度10月より「特定処遇改善加算」の算定を始めました。

手当の支給対象者は、法人の決定した職務従事する正規職員およびパートタイマーとし、支給額は当該加算に係る計画の内容などを勘案した上で都度決定する。支給の方法は年度末に一括支給とします。

・支給要件

グループ1:当施設キャリアパス要件の「監督職」以上のものとする。ユニット統括及び管理・活動の把握・部下の育成・目標管理等しっかりと行えている介護職員、また、リーダーでなはいが介護福祉士の資格があり、育成やサポートに優れている者。

グループ2:上記以外の介護職員

グループ3:その他の職員(相談員・管理栄養士・看護師・庶務・調理師)

人材について

本年度も介護職員の人材不足には苦戦しました。
新卒者の獲得ができず、中堅クラスの離職などにより在籍職員の業務負担が増えてしまうことになりました。
また、派遣の採用をしたため、人件費が嵩んでしまいました。

職員教育・研修について

・施設内研修

各委員会や専門職種による、資質向上のための研修を行う事ができました。
日頃の業務に活かし、入居者様には安全・安心に生活できるように、また、職員同士では協力し合い、共有する事が出来るよう努めました。

・施設外研修

人手不足により、途中コロナウィルスで外部研修の中止等、予定が大きく変わってしまいました。
外部研修に行った職員による、内部研修を計画し、研修で使用した資料を職員全員に配布、学んできた事を再度、施設職員にフィードバックしてもらいました。
主な研修は、別紙の通りです。

令和元年度理事会・評議員会開催状況

理事会

招集日	開催日	議案
R1.5.30	R1.6.7	①平成30年度事業報告及び平成30年度計算書類承認 ②次期役員候補者の件 ③定時評議員会招集の件 ④理事長職務報告
R1.6.10	R1.6.21	①理事長選任の件 ②理事長職務報告
R1.8.1	R1.8.9	①LED導入の件 ②補正予算の件 ③運営規程修正の件 ④理事長職務報告
R1.10.17	R1.10.25	①理事長職務報告 ②その他
R1.12.26	R2.1.10	①評議員候補者推薦の件 ②理事長職務報告 ③評議員選任解任委員会招集の件
R2.3.1	R2.3.19	①令和2年度予算の件 ②令和2年度事業計画の件 ③監視カメラ入れ替えの件 ④理事長職務報告 ⑤評議員選任結果報告

評議員会

招集日	開催日	議案
R1.6.10	R1.6.21	①平成30年度計算書類承認の件 ②理事6名、監事2名選任の件 ③役員報酬額決定の件
R1.8.1	R1.8.9	①LED導入の件 ②補正予算の件 ③運営規程修正の件

令和元年度・各会議と委員会活動報告

会議・委員会名	開催	構成人員等
安心安全委員会	毎月7日	理事長・施設長・介護統括・生活相談員・看護主任・介護主任・フロアリーダー・管理栄養士
リーダー会議	毎月7日	施設長・介護統括・生活相談員・看護主任・介護主任・フロアリーダー・管理栄養士 各ユニットリーダー
フロア一会議	月1回	施設長・フロア全体の職員・介護主任・生活相談員
ユニット会議	月1回	施設長・ユニットの職員・介護主任・生活相談員
事故対策会議	都度	施設長・介護統括・生活相談員・介護主任・ユニット職員他
資質向上委員会	月1回	介護職員のスキルアップを図るため、外部・内部の講師をたて研修を行う
振り返り	り	ご入居者様や各フロア・ユニットの問題点や課題を共有し、解決に務める事ができました。 より、星久喜白山荘を良くするため、日頃から日常会話を通して職員同士コミュニケーションを図り、資質向上一人一人が考えて行きたいと思います。 また、ご家族からの要望等もしっかりヒアリングしていきたいと思います。

【資質向上委員会】	内 容	担 当
第1回	介護保険制度の概要	生活相談員
第2回	事故予防対策と事故の対応	事故対策委員
第3回	仕事に対する基本姿勢	介護安定センター講師
第4回	食中毒の予防・予防4原則	管理栄養士
第5回	口腔ケアの目的・技師の清掃・口臭予防	口腔委員
第6回	地震の心得10ヶ条・災害マニュアルの活用	防火管理委員会
第7回	感染症とは・感染症の対策	感染症対策委員
第8回	サルコペニアとは・栄養管理	管理栄養士
第9回	高齢者の脱水症状について	大塚製薬
第10回	入浴介助方法の仕方(DVD鑑賞)	入浴委員
第11回	急変時の処置・心臓マッサージの方法	看護師
第12回	高齢者の拘束・虐待ゼロ作戦	拘束委員

☆処遇改善加算に伴う、資質向上委員会ですが毎月1回行いました。

職員全員を対象に介護力向上にむけて、施設内研修に取り組みました。

令和元年度委員会活動報告

給食委員会

日 時	議 題	内 容
年1回 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食の提供について ・入居者様の食事について 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1度の行事食の内容について ・入居者様お一人お一人の食事の形態や趣向について、現場から意見を聞き取り食事提供に活かす。

入浴委員会

日 時	議 題	内 容
年4回 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴委員会の研修について ・目標について ・物品購入について ・業務内容の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回の研修を予定 ・目標「安全でリラックスできる入浴時間を提供する」 ・ボディタオルや入浴剤、皮膚トラブルに合わせた物品購入 ・特浴メンテナンスのやり方や使い方 ・事故が起きないように対応を考える

身体拘束委員会

日 時	議 題	内 容
年4回 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・目標について ・身体拘束について ・拘束を知る ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標「身体拘束ゼロ」 ・法令の改定により拘束、虐待の厳罰化について詳細を周知 ・職員の意識付け ・年間研修計画

ボランティア委員会

日 時	議 題	内 容
年3回 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・目標について ・行事の打ち合わせ ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標「職員も入居者様も楽しめるような行事をつくる」 ・「納涼祭」「敬老会」について詳細な話し合い ・日頃のボランティア受け入れ

排泄委員会

日 時	議 題	内 容
年6回 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・目標について ・研修計画について ・排泄介助について ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標「チームで行う排泄ケア」 ・年間2回を予定 ・排泄準備、ポータブルトイレでの排泄介助、陰洗のやり方 ・排泄物品に関して(発注の仕方や災害用在庫の件)

口腔委員会

日時	議題	内容
年2回実施	<ul style="list-style-type: none"> ・目標について ・研修計画について ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標「個々の入居者様の熟知」 ・年間2回を予定 ・口腔ケアのポイント

事故対策委員会

日時	議題	内容
年4回実施 都度実施	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り機器について ・研修計画について ・ヒヤリハット、事故について 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り機器により職員の業務軽減の報告が確認されている ・年間2回の研修を予定 ・ヒヤリハットをもっと活用させる ・事故が起きた時、分析や検討を行い、介護事故が防止されよう対応を継続させる

褥瘡委員会

日時	議題	内容
年6回実施	<ul style="list-style-type: none"> ・目標について ・体位交換用クッション、寝具マット形態の調査 ・入居者様の床ずれ等の全身状態の周知 ・対策と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標「褥瘡ゼロ」 ・クッションやマットの集計をし、褥瘡委員全員で情報共有 ・看護師と共有し、職員全員に周知 ・看護師と共有し、処置内容を報告

感染症委員会

日時	議題	内容
年2回実施 必要な時 随時	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策について ・研修について ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症全般について ・年2回を計画、その他必要な時に必要な研修を実施 ・コロナウィルス対策(2週に1度確認の議事録を作成)

防火管理委員会

日時	議題	内容
年2回実施	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画について ・消防訓練について ・台風災害について 	<ul style="list-style-type: none"> ・最新のものに修正(消防署に相談) ・年間2回実施予定(うち1回は消防署立会予定) ・台風被害について、今後の対応

令和元年度 消防訓練

第1回目…令和元年9月27日実施

自衛消防訓練(日中想定)

別紙参照

第2回目…令和元年12月7日実施

消防訓練(消防隊立会訓練)

☆年2回の消防訓練を行いました。そのうちの1回は消防署立会で行い、指導をしていただきました。

令和元年度消防設備点検

令和元年月12日 富士システム防災により実施。

令和元年度貯水槽・水質検査

令和元年8月29日 ロート・ルーターサービスにより実施

様式第3号

消防訓練実施届出書

令和1年 9月18日

(あて先) 千葉市 消防署長

届出者

住所 千葉市中央区星久喜町152-2
氏名 社会福祉法人白山会
連絡先電話番号

043-209-1500

連絡先電子メールアドレス

hoshikuki@hakusannso.jp

千葉市火災予防条例第43条の2の規定により消防訓練の実施を届け出ます。

訓練種別	第1項	消火・通報・避難・ <input checked="" type="checkbox"/> 総合
	第2項	避難
訓練日時	令和1年 9月 27日 13:30 ~ 14:20	
訓練場所	特別養護老人ホーム 星久喜白山荘	
訓練目的	自衛消防訓練	
参加人員	入所者: 49名	職員: 20名
訓練概要	1階厨房より出火想定。初期消火、通報、入所者及び職員の避難誘導。	
訓練形態	事業所主体による自主訓練	
備考		
※受付欄		※経過欄

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4としてください。
2 訓練種別及び訓練形態の欄は、該当する訓練を○で囲んでください。
3 ※印欄は、記入しないでください。

社会福祉法人 白山会

令和1年9月28日

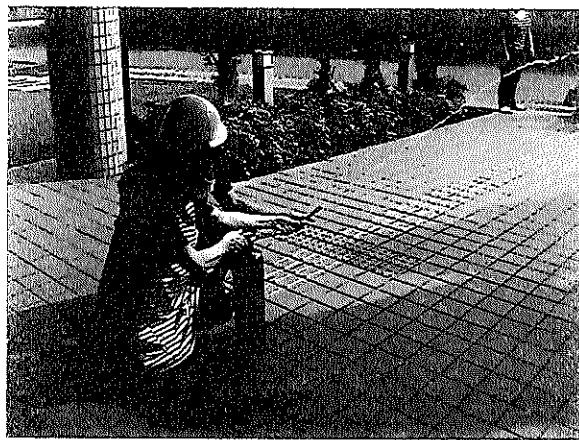
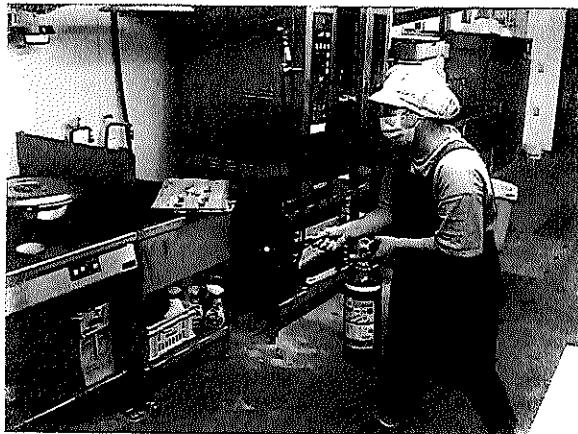
自衛消防訓練報告書

(報告)

令和1年9月27（金）13：30より施設職員により消防避難訓練を行いました。星久喜白山荘1階の厨房を出火場所として日中想定避難訓練となりました。

出火場所から発見者は発見後、速やかに他職員と連絡を行い、初期消火を行いました。

職員は館内放送に従って、入居者に防災頭巾や煙を吸わないようタオルを口にあて声かけにて非常口へ誘導を行いました。訓練結果、入居者全員対象の避難誘導とはならなかった為、避難完了時間が若干早くなってしまったと思われる。また、避難誘導を行った職員の危機意識がまだ薄れているように感じました。今後は職員に避難訓練の重要性を周知していくよう徹底していきたいと思います。今般、災害が急増している為、職員に危機意識をつけてもらうよう内部研修を行っていきたいと考える。



様式第3号

消防訓練実施届出書

令和1年 11月27日

(あて先) 千葉市中央 消防署長

届出者

住所 千葉市中央区星久喜町152-2

氏名 社会福祉法人白山会

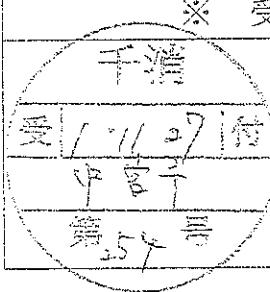
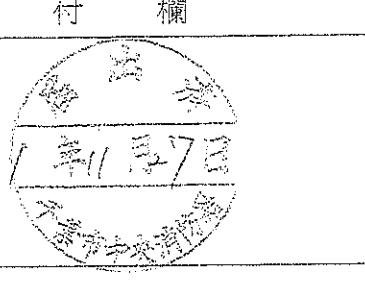
連絡先電話番号

043-209-1500

連絡先電子メールアドレス

hoshikuki@hakusannso.jp

千葉市火災予防条例第43条の2の規定により消防訓練の実施を届け出ます。

訓練種別	防火管理に関する訓練	総合・消火・通報・避難
	防災管理に関する訓練	避難
訓練日時	令和1年12月 7日 14:00 ~ 15:30	
防火対象物の所在地	千葉市中央区星久喜町152-2	
防火対象物の名称	特別養護老人ホーム 星久喜白山荘	
訓練場所		
訓練目的	直衛消防訓練	
参加人員	70人	
訓練概要	1階厨房より出火想定。初期消火、通報、入所者及び職員の避難誘導。	
訓練形態	事業所主体による自主訓練・消防機関による指導を希望する訓練	
	訓練用の資機材の借用希望	あり(水消栓等)
	指令センターへの119番通報	あり()
備考	消防署立ち合い	
※受付欄		※経過欄
		

社会福祉法人 白山会

令和1年12月10日

自衛消防訓練報告書

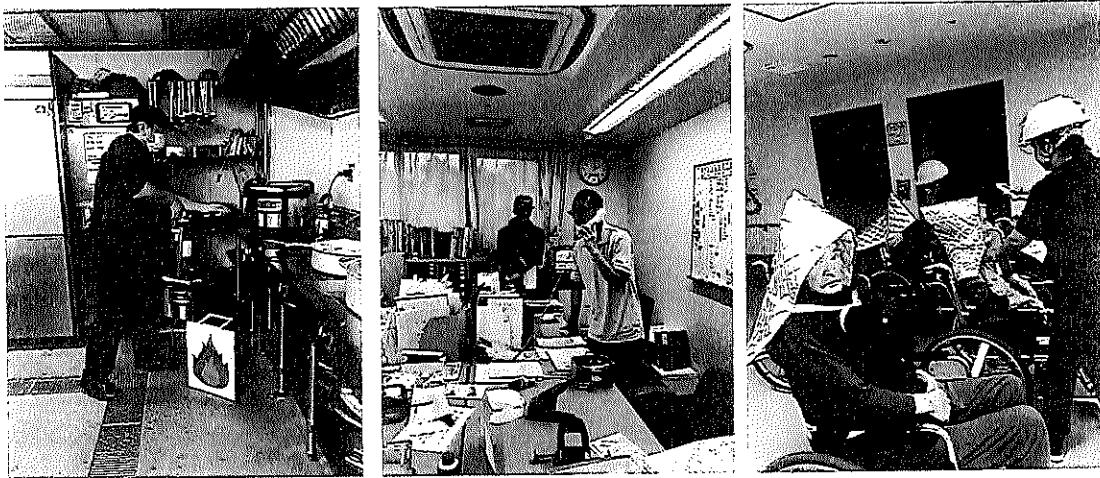
(報告)

令和1年12月7（木）14：00より施設職員により消防署員立ち合いのもと自衛消防避難訓練を行いました。星久喜白山荘1階の厨房内のコンセント付近から出火した日中想定で避難訓練となりました。

出火場所から発見者は発見後、速やかに他職員と連絡を行い、初期消火を行いました。職員は館内放送に従って、入居者に防災頭巾や煙を吸わないようタオルを口にあて声かけにて非常口へ誘導を行いました。職員は何が起こっても平常心をある程度持ちながら職務に努めていくことが大切である。

【消防署員からの総評】

- ・全体的には避難訓練は出来ていたとのこと。
- ・煙を吸わない為にも口をタオルで塞ぐ行動をとること。
- ・消防に通報する際には具体的に情報を伝えること。例えば、出火元は〇〇です。施設内には〇〇人、職員は〇〇人います。みたいな感じで言うこと。
- ・消火器内の消火剤は13秒～15秒で使い切ってしまう為、直接、火（的）にかけること。
- ・搬送する際はシーツを使うと効果的とのこと。



各部門の振り返り

生 活 相 談 員

入居者様の生活の質(QOL)が維持、向上するように、入居者様・ご家族様の意向の把握に努め看護師や管理栄養士といった多職種との連携を図り支援することで、活動の機会を設けつつも穏やかな生活を送ることができたと思います。

管理面においては、看取り介護加算、口腔衛生管理加算の算定をすることができました。その半面、年間の稼働率は、満床50人のところ退所者が18人と高い水準で推移したため、目標の96%を下回る結果となり、来年度はより重点的に稼働率が確保できるように取り組んでいきたいと思っております。

管 理 栄 養 士

目標:安全で美味しい食事を提供する

現場との連携を取り、月1回のミーティングをし、入居者様の嗜好を取り入れた献立を検討しました。多職種と連携し情報の共有を図り、入居者様が健康に過ごしていただけるようお手伝いできたと思っております。今後も健康で過ごせるよう努力していきます。

看 護 部 門

入居者様の状態把握、異常の早期発見については十分にできたと思います。

内服薬の管理の仕方をしっかりと行えるよう、看護師全員で話し合い改善を図りました。

報連相が確実に行えなかつた時もあり、他職種に不便をかけたことについても、徹底していくよう努力していきます。何事も早期解決に努めたが、隨時ミーティングを開催し具体的に解決していくことが必要と感じました。

介 護 部 門

④介護主任

事故について再度マニュアルの見直しや職員への周知徹底をしてきました。

問題発生した時点で、その都度職員同士話し合い、業務改善や一つ一つ問題解決に向けて努力できたと思っております。介護主任としての立場で、もう少しコミュニケーションをとるべきだったと反省もあります。

今後、もっと自分自身の立場を自問自答し、職員の立場になり考え、意見を聞き取り、確実に応えられるように努力していきたいと思います。

●介護副主任

職員とコミュニケーションを取りながら、入居者様の情報収集に努め入居者様の介助支援を実施していきました。

●介護副主任

事故について、対応が難しいものもありましたが、小さなことでも情報共有し、危険性を考え伝えることで少なくして行けることだと思っています。

レクリエーションについて全体のものだけでなく、特に食事に力を入れました。

夏の流しそうめんは好評だったので今後も取り入れていきたいと思います。

●1丁目ユニットリーダー

前年度の課題と目標であるところの、「フロア生活の充実と本人の意向と施設での生活様式のバランス身だしなみ等の整容」は達成に向けて努力途中です。

●2丁目ユニットリーダー

ヒヤリハットを元に、移乗時・排泄介助時等、慎重かつ丁寧な入居者様への対応を心がけました。

防げる事故は起こさないよう、職員全員で周知徹底しました。

今後も職員一人一人から意見を聞き、多職種と連携をしながら今後の処遇に活かせるようにしていきます。

●3丁目ユニットリーダー

フロア全体の清掃や物品整理を職員に声掛けをし、徹底する事ができました。

来年度も全員で意識し、継続していきたいと思います。

ユニット毎のレクリエーションが積極的にできなかつたことが後悔されます。

来年度はより入居者様に寄り添えるレクリエーションを職員で考え、楽しんでいただけるよう努力していきます。

●5丁目ユニットリーダー

感染症や、大きな事故もなく過ごせた一年でした。

意思疎通が難しい方もいらっしゃいましたが、コミュニケーションをこまめにとる事や、他職種に相談することで現在は穏やかなユニットになってきていると思います。

●6丁目ユニットリーダー

ユニットリーダーとして、入居者様に対し、質の良いサービスの提供ができたと思っております。

入居者様が施設生活を楽しんで頂ける様、また、在宅の延長と考えQOLお室を高めた四季を感じられる、思い出せる行事・企画を実施、食レク・外出レク等、職員の協力があり、一緒に安全に事故等なく行え良かったと思います。

●7丁目ユニットリーダー

年間行事で外出レクがなかなか出来ず、入居者様の気分転換をさせてあげることが出来ませんでした。人手不足等もありますが、計画をしっかりたて、少しでも気分転換を図れるよう努めていきたいと思います。

●8丁目ユニットリーダー

ADLの維持に努め、変化していく入居者様に合った支援を職員一人一人が意識して業務にあたりました。看護師や相談員といった多職種との連携をもっと密に持てるように「報連相」を職員に周知徹底していきたいと思っております。

各委員会活動報告

給食委員会

目標:「美味しく安全な給食につとめる」

美味しく安全な給食を現場(介護職員・看護師・相談員等)の意見を取り入れ、厨房の現場と協力しながら提供する事ができました。

防火委員会

防災意識を深める為に、職員対象で内部研修を行い、避難訓練時には消防隊の方にも参加していただき、指導をしていただきながら訓練を行う事ができました。

避難訓練を行い、職員に防災意識を少しは感じてもらいましたが、実際に避難が必要となった時に、発揮できるよう2回以上の訓練と研修を行って行きたいと思います。

褥瘡委員会

目標:「褥瘡ゼロ」

各委員会と意見交換の実践ができました。

委員会での情報共有はできました。

しかし、入居者様にあたっては、退院後に褥瘡を発見したり、なりかけが見受けられました。

体交や圧力の調整を再検討し、職員全員で「褥瘡ゼロ」を目指します。

排泄委員会

他オムツ業者に来てもらい、介護負担軽減や、コストダウンに繋がるような業務改善の提案をしていただきました。対象者を決め、商品を1週間サンプリングを行いました。結果的には、現在使用しているオムツ業者を選ぶことになりましたが継続的に排泄物品やコストについては検討を続けていきたいと思います。

入浴委員会

目標:「安心・安全にリラックスできる入浴」

昨年度は入浴時のヒヤリハット報告が多く、職員の不注意からのものでした。

浴槽の故障も何度かあり、日ごろのメンテナンスを今一度見直し、入居者様が気持ちよく、入浴できるよう援助していきます。

事故対策委員会

年度内に4回の委員会開催、2回の施設内研修を適切に実行できました。

また、センサーマットなどの見守り機器の使用状況を把握し、入居者様の状態に応じた適切な使用に努めました。

課題は、職員の見守り状況や環境整備の状況によっては予防できた事故もありました。

入居者様の状態変化に応じた支援が行えるように努めていかなければいけないと痛切に感じました。

口腔委員会

31年度の目標「口腔観察と把握」

訪問歯科の結果を共有し、入居者様個々の口腔内環境を日々チェックし対応できました。

さらに、改善し入居者様にあった口腔ケアに取り組んでいきたいと思います。

ボランティア委員会

目標:「職員も入居者様も楽しめるような行事を作つて行く」

本年度は毎月最低2度以上は入居者様が楽しく参加できる行事を行う事ができました。

しかし、職員の参加人数がまばらで、積極的に参加してほしいです。

もっと、ADL向上につながる

身体拘束委員会

今年度の目標は「身体拘束”ゼロ”の継続」

車椅子やベッドでの拘束ベルトや拘束着の使用はゼロです。

入居者様の安全第一が基本ですが、不快な気持ちにならないように、職員一同が意識して処遇できました。

感染症委員会

施設内での感染症の発症はありませんでした。

職員一丸となり、感染症対策がしっかりと行えました。(手指消毒・うがい・マスクの着用)

環境衛生委員会

大雨・強風等に備えられるような、日々の環境整備を徹底しなければならないことを実感する年でした。

また、感染症対策で衛生物品の管理は常に行うようにしたいと思います。

令和元年度行事食について



令和元年3月20まで、当施設で食材を購入し、食事を作っていましたが、調理師の不足により、3月21日よりナリコマエンタープライズという会社と契約をしクリックチルシステムを導入しました。
こちらは、常食・ミキサー食・ソフト食とすべて食事形態ごとにパックになっており、温め必要があれば切り、お皿に盛ればすぐに提供できる食事となっています。

メニューについては、多種多様となっております。その一部が下記の食事になります。



令和元年度年間行事

介護部門

月	イベント	内容
4月	花見会	フロア毎に近隣公園等に出かけ、桜の花見をしました。 おやつや飲み物を持参し、春の景色を楽しみました。
5月	芝桜見学	富田町にある農業交流センターにおやつを持参し見学にいきました。
6月	緑化植物園	植物園を散策し、外気浴と景色を楽しんで頂けました。
	葛飾柴又散策	柴又で参拝・散策をし亀有周辺をドライブしました。
7月	納涼祭	ご家族やボランティアさんを招いて、夏のひと時を過ごしました。 普段とは違う食事を召し上がっていただき、お祭り気分を味わっていただきました。
8月	外出レク	近隣のお店で、ソフトクリームを召し上がって頂きました。
9月	敬老会	敬老の日を祝い、職員が計画したレクリエーションで楽しんで頂きました 行事食を召し上がっていただきました。
	外出レク	秋の味覚を求めて、近隣の飲食店へ行き、好みの物を召し上がって頂きました。
10月	外出レク	幕張の海と緑化植物園へ行き、秋を感じていただきました。
11月	外出レク	バーミヤンへ行き、好みの物を召し上がって頂きました。
12月	クリスマス会	クリスマス会、DVD鑑賞、食レク等プレゼントを用意して皆さんに配りました
1月	新年会他	職員による演奏会、食レク、DVD鑑賞等。
2月	節分	職員による観劇、演奏会、豆まきを楽しみました。
3月	ひな祭り他	7段かざりの雛人形の前で写真撮影。その他食レクを楽しみました。

※ その他、毎月の誕生日会や施設内の食レクは白山荘の一押しです！！

一緒に美味しいものを作ったり、デコレーションしたりと楽しい時間を過ごしていただきました。

お食事が召し上げれない方には、ヤクルトや飴等看護師の見守りのもと、召し上がって頂きました。

皆様の顔は、ふたば通信にもあるように、満面の笑みでした。

ボランティアの紹介

定期	傾聴ボランティア
	フラダンス
	カラオケボランティア
	キーボード演奏

毎月 2回

毎月 1回

毎月 1回

毎月 1回

納涼祭	フラダンス
	舞踊

毎年恒例のボランティアの方々です。

フラダンスは見て楽しみ、舞踊は、おなじみの曲を盆踊りで
職員・入居者様と一緒に輪になり踊り、夏祭りを楽しみました。

敬老会	マジックショー

老人会の方が、毎回練習をし、マジックを披露してくれます。

笑いが絶えず、楽しい時間を過ごしていただきました。

看護部門

	指導・検診	委員会・施設内研修
4月	健康診断結果指導・厨房職員検便	感染症対策委員会
5月	厨房職員検便	
6月	厨房職員検便	
7月	厨房職員検便	感染症対策委員会
8月	厨房職員検便	感染症対策委員会第1回内部研修
9月	入居者様胸部レントゲン・介護職員健康診断・厨房検便	
10月	厨房職員検便・検診結果指導	
11月	厨房職員検便	感染症対策委員会
12月	厨房職員検便	感染症対策委員会第2回内部研修
1月	厨房職員検便	
2月	厨房職員検便	感染症対策委員会
3月	全職員健康診断・厨房検便	

※ 看護師・衛生管理者で計画・指導を行いました。

早めの病院再受診等を本人と面談し、説明しました。生活習慣病予防に取り組んでいきたいと思っております。

令和元年度 施設外研修一覧

研修場所	研修内容	参加職員
全国福祉法人協会	理事・監事の改選手続きセミナー	1人
千葉市立青葉病院	ちばスキンフォーラム	1人
介護労働安定センター	雇用管理責任者講習	1人
千葉市社会福祉研修センター	高齢者介護のための医学知識	2人
千葉市社会福祉研修センター	災害時緊急対応訓練	2人
介護労働安定センター	介護食が学ぶターミナルケア	1人
看護協会	創傷ケアと摂食嚥下ケアの知識を得て現場に生かそう	1人
千葉市総合保険医療センター	感染症予防講習会	1人
介護労働安定センター	介護職員特定待遇改善加算対応策セミナー	2人
シルバーサービス振興会	アセツツサ一講習	1人
千葉ハーモニープラザ	非常対策研修	2人
千葉県介護福祉士会	介護職マネジメント	1人
千葉市	認知症実践研修	1人
介護労働安定センター	認知症の理解と緩和ケア	2人
千葉県社会福祉協議会	福祉の学びなおす	1人
千葉市社会福祉研修センター	人事考課	1人

※本年度も色々な研修に参加していただきました。特に、中堅クラスの職員を中心に参加しました。
 しかし、途中、コロナウィルスで申し込んでいた研修がすべてキャンセルとなってしまい、
 とても残念でした。受講した研修は、施設内研修の資料として研修を受けた職員による、他職員
 への研修を行いました。

令和元年度 施設内研修一覧表

		研修内容	参加職員
顧問社労士	働き方改革とは	全職員	
外部研修より	高齢者介護のための医学知識		
外部講師	メンタルヘルスケア・セルフケア研修	全職員	
外部講師	腰痛予防・ストレッチ体操	全職員	
排泄委員会	排泄を行う時の注意するポイント		
介護主任(研修参加の職員)	看取り期の食事を支えるアプローチお食い締め	12名	
生活相談員	介護保険の概要	13名	
明治管理栄養士	脱水症について	8名	
口腔委員会	口腔ケアの基礎について	10名	
看護師	看取りケアとは	12名	
防火管理者	大規模災害時の対応および防災設備について	15名	
排泄委員会	排泄介助について	12名	
身体拘束委員会	気づきから行動へ(高齢者の人権について)	15名	
看護師	感染症対策について	7名	
排泄委員会	排泄介助で注意するポイント	12名	
入浴委員会	入浴介助の心がけ	10名	
介護士(研修参加の職員)	認知症の理解とBPSD	13名	

その他、必要な時に必要な研修を計画し実施しました。

特に、今年は「感染症対策」この先も続く事が想定される「コロナウィルス対策」についても情報を共有し、2週に1度の記録を残しました。継続する予定です。

キャリアアップをふまえ、今後技術的な研修に力を入れていきたいと思います。

また、現在は実施しておりませんが、施設内検定を策定し、職員一人一人の向上が入居者様、お一人お一人の安心につながると思っております。